

輝いています

蕨高校出身バンドYKJ ボーカル&ギター

# ひと

若生 ヤスジ さん



蕨ケーブルビジョンのスタジオで弾き語る若生さん

## 蕨に音楽で恩返ししたい

「蕨」笑い♪。小さなまちの歌』を作詞作曲したのは、市内在住の若生ヤスジさん。所属バンドYKJは、新潟・大阪を経て市内へと続く飲食店応援ツアーの最中です。父にギターを教わったのは小学生のとき。やがて、自分の言葉でメロディーに乗せ始め、曲にほれ込んだ中学の同級生とYKJを結成します。進学した蕨高校でもバンドに没頭。『自転車』では当時の蕨の思い出が軽快に歌われています。聴く人をひきつける独特の歌声は、何百回もの路上ライブのたまもの。通行人に足を止めてもらうため全員で腕を磨くにつれ、全国ツアーを行

うまでバンドは成長します。しかし、メンバーの変遷で平成22年に、蕨育ちで高校の同級生のシユウゴさん（ドラム）と2人組に。限られた音で試行錯誤してたどり着いたのは、2人の歌で音に厚みを加えつつ、シンブルな曲や歌詞で想いを伝えること。「弾き語り、叩きハモる」独自の音楽を確立するなか、『あいたいひと』が映画主題歌となり、ファンも増えていきました。一方で、若生さんは、市内の交流も大事にしてきました。YKJがMCの蕨ケーブルビジョン音楽番組VOICEでは、ライブの他に、お店のCMソングを作り店内で歌うことも。『蕨の歌』も住んで蕨のよさを知った若生さんのまわりで初披露されたものです。最近では、コロナ禍でウェブ配信が中心ですが、ライブの場でもある飲食店支援のため、売り上げの一部を会場のお店に還元する冒頭のツアーを開始。27日には中央のペスカールで演奏します（配信あり）。

「蕨高校・市内学生との共演が夢」と目を輝かせる若生さんは、市内音楽シーンの中心でその魅力を伝えていきます。

### 今月の河鍋暁斎記念美術館

## 天才絵師の作品 蕨にあり

—No.66—



本作品は現在の展覧会で御覧いただけます

暁斎筆『座敷芸 道戯忠臣蔵』より  
十一段目 高家討入の場 錦絵

幕末から明治にかけて、歌舞伎などで知られた『仮名手本忠臣蔵』を基にした喜劇が流行しました。本図は酒席のお座敷芸として『仮名手本忠臣蔵』を演じているという趣向で、各段の名場面の戯画を暁斎が描いた連作錦絵のうち、クライマックスの討ち入りの場面です。原作では義士たちが主君の敵である高



現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勲業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい  
河鍋 暁斎  
天保2年(1831)  
～明治22年(1889)

師直を採す緊迫した場面ですが、ここでは大星由良助が采配ではなく塵払いを持ち、天井を払うなどの大掃除をしている様子が描かれています。

### 河鍋暁斎記念美術館 「暁斎が描いた『忠臣蔵』と芝居絵」展 開催中

同時開催「『暁斎百鬼画談』の世界」展

開館＝午前10時～午後4時  
休館＝火・木曜日、毎月26日～末日  
ところ＝南町4-36-4

入館料＝一般600円 高校生・大学生500円  
小・中学生300円 65歳以上500円  
※65歳以上の人は年齢の分かる物、学生は学生証をご提示ください

詳細＝同館 ☎441-9780

